

# 緊急・重要

## 被災地で救援活動をなされている方々への 重要な情報提供

東北関東大震災の被災地にて救援・救護活動をなされている方々へ、社団法人日本画像医療システム工業会安全性委員会から重要な情報をお知らせいたします。

被災地の医療施設では、MR装置及びRI装置が破損している可能性が高いと思いますので、次の事項に注意して頂けるように徹底をお願い致します。

- ・医療施設のMR装置及びRI装置の有無を確認する。
- ・あった場合は、入手できる材料で警告表示（下記のとおり）をする。
- ・これは、自身の安全を図るのみならず、災害復旧に携わる全ての人々の安全を確保するためです。

### 1. MR装置があった場合の対応

装置から5m以上はなれた位置に  
「金属物の吸着に警戒。近寄るな。」を表示する。

永久磁石型MR装置の場合  
電力が無くても、強力な磁石として機能しているので、金属物を絶対に近接させないで下さい。  
近接させると、MR装置に向かって金属物が飛んで行きます。

超電導型MR装置の装置  
磁場が残存している可能性に警戒する。  
ヘリウムが残存している場合、MR装置は爆発のポテンシャルが在り、警告表示をした後にMR装置から離れ、医療施設の担当者に直ちに連絡して下さい。

### 2. RI装置があった場合の対応

RI検査室の近傍に  
「RI装置あり。近寄るな。」を表示する。

SPECT装置、PET装置などのRI装置に使用されるRI線源が検査室近傍に存在する場合があります。医療施設の関係者にRI線源の有無が確認できない場合は、三角形のRI標識がある区域（管理区域）の中に立ち入らないで下さい。

また、装置の存在が確認された場合は、救援担当者（自衛隊、警察、消防）に装置の存在を伝えることをお願いします。